

● 現在の経営状況^{*2}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	7.1 p	△ 0.3 p ↓
不動産流通業(住宅地)	△ 2.3 p	3.3 p ↑
ビル賃貸業	34.4 p	19.7 p ↑

● 3ヶ月後経営状況見通し^{*3}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	△ 3.6 p	△ 1.7 p ↓
不動産流通業(住宅地)	△ 8.1 p	△ 9.2 p ↓
ビル賃貸業	6.3 p	△ 11.3 p ↓

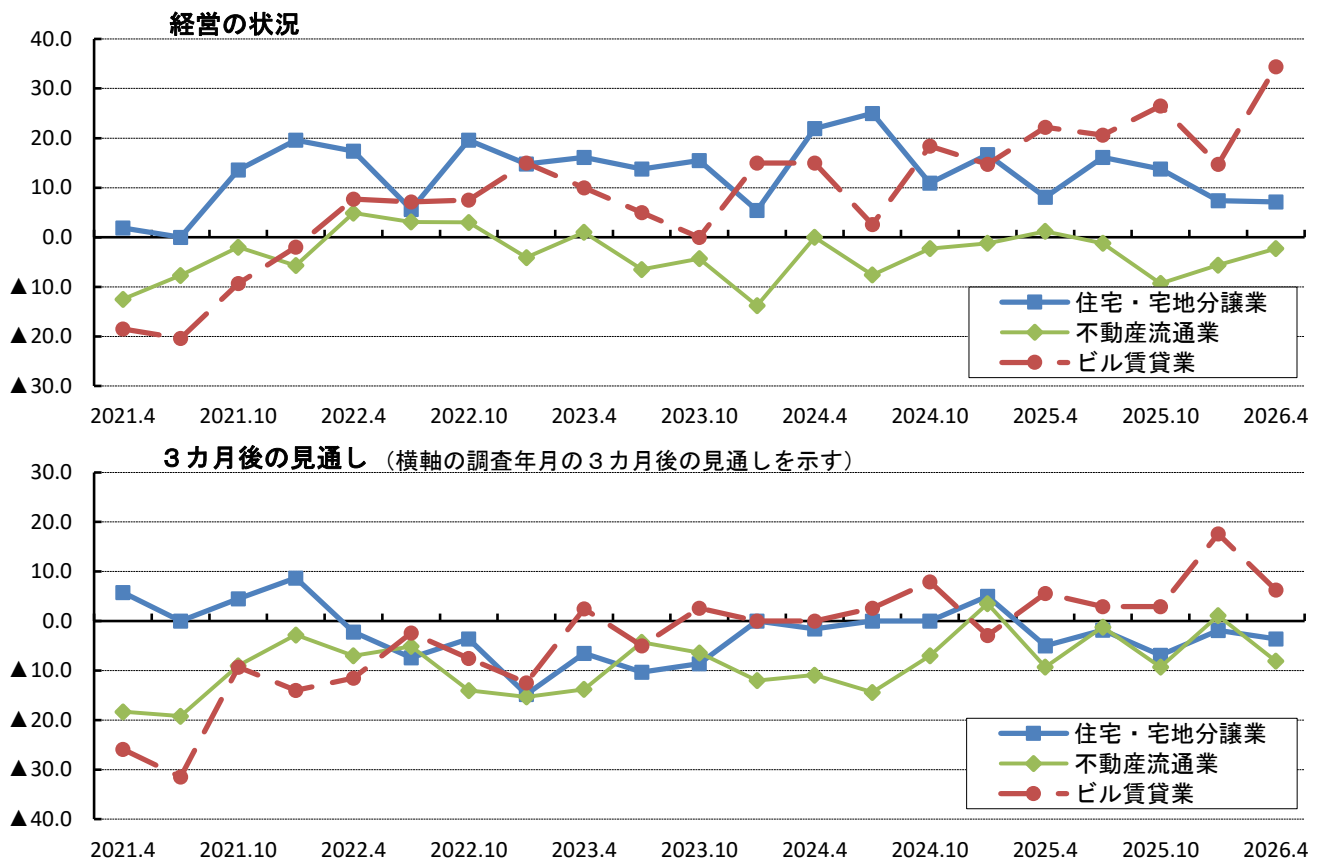
住宅・宅地分譲業の経営状況は前回の調査時点から0.3p悪化し、7.1pとなった。
不動産流通業は、前回から3.3p改善し -2.3pとなった。
ビル賃貸業は、前回のから19.7p改善し 34.4pとなった。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業、不動産流通業でビル賃貸業の全てで悪化。

^{*1} 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。
調査時期は毎年1、4、7、10月。

^{*2} 経営の状況＝{（「良い」×2「やや良い」）－（「悪い」×2＋「やや悪い」）}÷2÷回答数×100

^{*3} 3ヶ月後の見通し＝{（「良くなる」×2＋「やや良くなる」）－（「悪くなる」×2＋「やや悪くなる」）}÷2÷回答数×100
（調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



[不動産業業況等調査結果（pdf）ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第164号「不動産業業況等調査」